

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【京都府】

学校名【 京都府立久御山高等学校 】

1 実践テーマ	【Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ】
2 実施対象者	スポーツ総合専攻1・2・3年生
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（保健体育）</p> <p>② 行事名（小学校及び支援学校との連携事業・オリパラ講演会）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（東角小学校運動会）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目 標 (ねらい)	<p>小学生や支援学校の生徒と交流をすることで、スポーツを「支える」価値や意義を理解させるとともに、スポーツ指導での交流を通じて人間的成長を図る。</p> <p>また、オリンピックの講演から、自己の取り組みを見つめ直し、更なる向上への意欲を高める。</p>
5 取組内容	<p>1 久御山町立東角小学校運動会ボランティア活動</p> <p>(1) 日時 令和元年9月15日（土）</p> <p>(2) 場所 久御山町立東角小学校グラウンド</p> <p>(3) 内容 東角小学校運動会の競技補助・準備等手伝い</p> <p>2 小学校・支援学校との連携事業（1・2年生）</p> <p>(1) 日時 令和元年1学期～2学期（2年生） 令和元年2学期～3学期（1年生）</p> <p>(2) 場所 京都府立久御山高等学校 久御山町立東角小学校 京都府立城陽支援学校</p> <p>(3) 内容 「生涯を通してスポーツの振興発展にかかわる資質や能力の育成」を目的として、小学生にたいして2年間を通じた体づくり運動を指導する。また、支援学校の生徒とのスポーツ交流を通じて障害者理解を深める。</p> <p>3 オリンピック選手による講演会</p> <p>(1) 日時 令和元年12月6日（金）</p> <p>(2) 場所 京都府立久御山高等学校体育館</p> <p>(3) 内容 佐野優子氏（女子バレーボール）による講演</p>

## 6主な成果

### 1 久御山町立東角小学校運動会ボランティア活動

計画では、本校サッカー部が久御山町立東角小学校の運動会に参加して、競技の補助・準備片付けの手伝い・サッカーのパフォーマンスを実施する予定であったが、雨のため中止となった。例年、小学生もパフォーマンスを楽しみにしてくれているということなので、今後も継続して参加していきたいと考えている。

### 1 小高連携事業

(2年生)

平成30年度から東角小学校3年生児童を対象に事業を開始してきた。30年度は児童との交流と関係を築くため、音楽に合わせて体操する「リズム体操」を一緒に実施した。その後、小学生の体力の実態などを踏まえ、指導案を作成し、模擬授業を繰り返し実践した。令和元年度も模擬授業などを繰り返し行い、修正をしながら決定した内容を小学生に指導した。5班に分かれ、それぞれ「高めたい力」を目標として設定し、その目標が達成できるような活動内容を考えた。小学生も楽しみながら参加してくれ、充実した事業となった。



〈障害物リレー〉



〈ボール当て〉



〈ボール投げ〉

(1年生)

京都府立宇治支援学校とのスポーツ交流を実施した。障害者と健常者が関係なく、スポーツを通して一つのことを協力してやり遂げる機

会をつくることで、障害者の理解・人権意識の向上を図り、パラスポーツに触れるきっかけづくりを目的とした。

当初は3回の交流を計画していたが、ノロウィルスの感染等があり1回のみの交流となった。指導計画を作成しながら、班に分かれた活動計画を立案して実行する予定であったが、今年度はバレーボールとドッチビーを実施することしかできなかった。生徒は最初、支援学校の生徒にどう接すれば良いか迷っている感じであったが、交流を進めるにつれて自然に接することができるようになり、お互いに声かけをするなど有意義な時間となった。



〈ドッチビー〉



〈バレーボール〉


### 3 講演会

講師に、ロンドンオリンピックで銅メダルを獲得された元女子バレーボール日本代表の佐野優子氏にお越しいただいた。インタビュー形式での講演で、オリンピックのことはもちろんのこと、高校時代の活動から海外での活動まで、経験されてきたこと全てをお話しいただき、生徒はトップアスリートの言葉に聞き入っていた。

(生徒の感想より)

今回の講演会では、実際に世界で戦ってこられた佐野選手のお話を聞いて、自分たちに取り入れられる話をたくさん聞くことができとても勉強になった。海外でプレーしようとして日本を飛び出していった勇気や行動力がすごいと思った。海外では、給料や生活の保障はなく、自分が活躍して稼ぐしかないという厳しい環境に自ら飛び込んでいってやりきることがすごく格好いいと思った。私たちは普段、家族や周りの方々にたくさんのことをしてもらって今競技に集中できているけど、これからは自分のことはできる限り自分でして自分に厳しくできるようにしていこうと思った。勝負になった場面で自分の力を出しきるためには、「今までやってきたことを全てだしきる勇気が必要」というのを聞いて、本当にその通りだと感じたし、自信を持って出しきれるだけの練習を積み重ねていこうと思いました。



	 <p>〈講演の様子〉</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小高連携事業では、小学生中学年の体力がどの程度か実態を調べ、身につけたい能力を考えて運動を構成し、模擬授業で実践し、修正するということを繰り返し行った。</li> </ul>
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会では講師の決定が大変難しい。</li> <li>・支援学校との交流を次年度にどのように繋げていくかがまだ明確にできていないため、今後の課題となる。</li> </ul>
9来年度以降の実施予定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 運動会ボランティア活動</li> <li>2 支援学校との交流事業</li> <li>3 オリパラ講演会</li> </ol>